



し、分法し 説ををどに。練、題考。  
 ての方用 解題方、的たらく問思る  
 えこる活 の課えで欲えりな考、あ  
 答そ、すも 答う考の意考ドは参きで  
 だ。く用に 解いのもをとるでのいの  
 うれな利成 のと式うかるなのでた  
 ぼさでく作 そ「程いのき単る上しえ  
 っ 懼 けま題 、。方ういでをめる用考  
 ず 危 だう問 てう、どよがトどす活と  
 てが 習を、 しよりはらとフと成でう  
 当と 練説い。成みよ題たこそに作形こ  
 はこ 解思た。作てに問いく本用をうい  
 てう りいとえをっとい解い、活題いて  
 っい ドすか考題くこよにてりの問とめ  
 よと するやいと問つるたうしまげが示高  
 にう なりなう「もえつよ究つだ徒提を  
 徒ま 単かはよ 書与使の追 習生の力

けな。か」にン、ロツでそ何ま問、とし  
 付 きう分。題スがブアん。は高、は」に  
 置 解よ、ね問ッいーン込た質がてに。う  
 位 をみでてのレよワスリし本力っ徒よ  
 に 題てのいブはも、ッ取示の考が生いる  
 め 問っうおッ題でかレで指題思たるいれ  
 と の 思てア問まく、一、問、しいも迫  
 トま 式をつとしン、ま書せやう、き。ててに  
 ン の 程 題を 意ス際のにさちよてでるしし質  
 イ 式 方 問 い用ッのそトにブいっがあ写直本  
 ポ 程 え「い ももレそを一かかなよとでまにの  
 の 方 考、い 人説、。題シるキのにこのま単題  
 踐、と に りい 解ける問クすをとるとるたの簡問  
 実 はうめ よ ない掛かの一成題ここええそと、  
 ) 時 こじ、らすげかブワ作問うる考考をっし  
 7 本 いはらかや投りッずでのますをと文も言。まのらよ生題しすい、  
 ( て が 分り と取ア必等ブしうかる題「助た そねる 問ジ用て123

、がみ のン利し  
 はとて ンレを成  
 にこっ ーア覚作  
 徒 るく タに視を  
 生 めつ パリもの  
 た 高を のな説も 係  
 し 題を つ分解い の  
 成 を 力問 3自、す 速  
 作 を 考用 の、しや 間  
 題 の 思 応。次て成り 間  
 問 の、た、し作か 時係  
 計 身でしはにを分 と関係  
 算 自の言ち考題ど りの関  
 問 徒な助た参問な の金齡  
 題 計 算 問 題 を 作 成 し た 生 徒 に は と て ン レ を 成  
 高 を の な 説 も 係  
 力 問 3 自 、 す 速  
 を 考 用 の 、 し や 間  
 の 思 応 。 次 て 成 り 間  
 の 、 た 、 し 作 か 時 係  
 身 で し は に を 分 と 関 係  
 自 の 言 ち 考 題 ど り の 関  
 徒 な 助 た 参 問 な の 金 齡  
 計 算 問 題 を 作 成 し た 生 徒 に は と て ン レ を 成

一上、うりほか見問タど掛、なれ自か、たよ的に本  
ユコ向も違取がりく、パ。いてん。こをしはきに体身に  
ピ、段ではに徒取多てのた問くみたで。問題のどと具がる。  
ンで数れき題生にがしつとな、つ。問問な説この力えこ  
コのがそ輝問る題徒そ3か？らで思いたるの切解る活ると  
的る欲、のな問問生。の多かかのとすく度大くす生えとい  
応較い意が目々て用るた図がの分たいやあて程にすう常考かな  
反比てでいと様し応すき、徒るがきたりで出る特やそ日ていらた  
のはれけなる、と、用てと生作分でしかにえ、り。いなわじ  
ちち慣だはべはうが活るるを自得出分反にえ、り。いなわじ  
たにうと比ちこたをなめす題「納をがうッきた分あちをでにを  
も徒と使こに。う導つ説にじに問、ら題明とア置つをでた式のル値  
ど生こをう業るのをあ解うは考のとた問説」ンにかえと徒程るリ価  
子のうたい授あめ答で、よを参る見のの。ス近な答こ生方くドの  
)校使一とのでし解どとる成をてみをここたッ身れのう、をてにト  
8本をユる段うはみんるれ作ンして説も「しレのく題いて面い単フ  
(タピす普よ組とから題一うけ解にやに分つ問とっ場付ソ